

2018年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名: 詳細環境調査
 調査媒体: 底質(ng/g-dry)
 地方公共団体: 北九州市
 調査地点: 洞海湾

調査対象物質	測定値			報告時 検出下限値	検出下限値
	検体1	検体2	検体3		
[2] 2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル=3-フェノキシベンジルエーテル (別名: エトフェンブロックス)	0.40	0.84	0.72	0.13	0.14
[6] 中鎖塩素化パラフィン類 (アルキル鎖の炭素数が14から17までで、かつ、塩素数が4から9までのもの。)	110	260	390	※※25	※※27
[6-1] 塩素化テトラデカン類 (塩素数が4から9までのもの。)	44	110	170	※※8.0	※※7.5
[6-1] 塩素化テトラデカン類 (塩素数が5から8までのもの。)	41	100	160	※※6.1	※※5.7
[6-1-1] テトラクロロテトラデカン類	※1.0	2.1	2.9	0.96	1.1
[6-1-2] ペンタクロロテトラデカン類	9.8	19	28	1.9	1.8
[6-1-3] ヘキサクロロテトラデカン類	16	39	61	2.1	2.0
[6-1-4] ヘプタクロロテトラデカン類	12	33	51	1.1	0.99
[6-1-5] オクタクロロテトラデカン類	3.6	11	19	1.0	0.93
[6-1-6] ノナクロロテトラデカン類	1.2	3.9	5.4	1.0	1.2
[6-2] 塩素化ペンタデカン類 (塩素数が4から9までのもの。)	34	83	120	※※5.0	※※4.7
[6-2-1] テトラクロロペンタデカン類	nd	1.7	2.2	0.78	0.90
[6-2-2] ペンタクロロペンタデカン類	6.4	12	17	0.88	0.82
[6-2-3] ヘキサクロロペンタデカン類	12	28	40	0.90	0.84
[6-2-4] ヘプタクロロペンタデカン類	10	26	39	1.1	1.0
[6-2-5] オクタクロロペンタデカン類	3.4	11	17	0.80	0.74
[6-2-6] ノナクロロペンタデカン類	0.78	3.2	4.8	0.58	0.68
[6-3] 塩素化ヘキサデカン類 (塩素数が4から9までのもの。)	19	46	63	※※7.1	※※7.8
[6-3-1] テトラクロロヘキサデカン類	3.0	6.3	9.7	1.2	1.3
[6-3-2] ペンタクロロヘキサデカン類	3.6	8.9	13	1.7	2.0
[6-3-3] ヘキサクロロヘキサデカン類	5.5	12	16	1.1	0.99
[6-3-4] ヘプタクロロヘキサデカン類	4.7	11	15	1.1	1.3
[6-3-5] オクタクロロヘキサデカン類	2.1	6.1	8.4	1.1	1.2
[6-3-6] ノナクロロヘキサデカン類	nd	1.5	2.3	0.87	1.0
[6-4] 塩素化ヘプタデカン類 (塩素数が4から9までのもの。)	12	28	39	※※4.9	※※5.7
[6-4-1] テトラクロロヘプタデカン類	2.2	4.7	6.5	0.85	0.99
[6-4-2] ペンタクロロヘプタデカン類	2.3	5.4	8.1	0.91	1.0
[6-4-3] ヘキサクロロヘプタデカン類	3.5	8.0	12	1.2	1.3
[6-4-4] ヘプタクロロヘプタデカン類	2.1	5.0	6.9	0.83	0.97
[6-4-5] オクタクロロヘプタデカン類	1.3	3.4	4.7	0.72	0.83
[6-4-6] ノナクロロヘプタデカン類	nd	1.1	1.5	0.44	0.51
[9] 3-フェノキシベンジル=3-(2,2-ジクロロビニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート (別名: ベルメトリン)	1.1	1.4	1.5	0.21	0.22

(注1) 「nd」は不検出を意味する。

(注2) ※: 参考値 (調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満)

(注3) ※※: アルキル基の炭素数別の検出下限値の合計値である。

(注4) アルキル鎖の炭素数が14から17までで、かつ、塩素数が4から9までのものの合計値を算出する際にはndを0として算出している。

(注5) 塩素数が4から9までのものの合計値を算出する際にはndを0として算出している。

(注6) 塩素数が5から8までのものの合計値を算出する際にはndを0として算出している。